

保育の實際

幼稚園の新學期

及川 ふみ

ながい冬ごもりもようやく終えて、草木の芽は、皆重い土を、もり／＼おし上げて來ました。赤い芽、青い芽、細い芽、太い芽、形や色はそれ／＼ことなつておりますが、いずれも春をまつて、もり上る旺盛な力にはかわりはありません。

春の幼稚園にも亦、この自然の盛り上る大きな力と同じ様に、幼稚園そのものにも、幼児たちが遊ぶ様子にもこの強い力が満ちております。

遊びなれた年長の幼児たちはうれしくも國民學校へ進んでいつて、一まつの淋しさを感じますが、又幼稚園には數多の小さい新入幼児を迎えるうれしい支度にとりかゝらなくてはなりません。

新學期の支度として、いろ／＼のことがありましようが先ず第一

組の編成について

幼児數の三四十人位の小人數の幼稚園では格別にこのこと

について何のわすらいもありませんが二組以上のところでは組の編成について考えなくてはなりません。

新らしく入園した幼児、年長組の在園者、男、女兒の數、其他、年齢と幼兒の數によつて組々の編成を考えましよう。一ヶ年保育、二ヶ年保育、三ヶ年保育など組の編成もは簡単に出來ません。同じ年齢の幼兒、男女兒の數が同じといふ事で一組の編成が出來、しかも一組の幼兒數が三〇人位という好條件に出來ればこれほど保育上ありがたい編成はないのであります。入園希望者の數によつてなか／＼こんな簡單にはまいりません。

幼稚園の經費

幼稚園の經費については、人件費、設備費、保育材料費、などと種々ありますが、こゝでは直接に保育に關係の深い保育材料費のみについて考へて見ましよう。この保育材料費は幼稚園の保育の内容を充實させる上に相當額のもの、ことに現在の物價高では尙更でありますが大體豫算をたて、おこなくなくてはなりません。

一ヶ年高、一學期、一ヶ月高といふ様に大體のくぎりを立て、保育の實際上按分を適當にいたましよう。このことについては、入園退園の比較的動きの少い時期、或は出席率の高低などの事について細かい注意が必要であつて一ヶ年を通じての豫算をたてなくてはなりません。たとへば第一學期第二學期などは幼兒の出席率のよい時であります。氣候の

寒い第三學期などは大體において出席率は低下するものであります。

保育室其他の諸室の内外的

整備について

これは經費とも直接の關係のある事ではありますが、保育室をはじめ、遊戯室、手洗場、靴置場所其他の諸室の破損修理などの設備の上にも、新しい學期の始まる前に手入をして幼児たちを迎えたいものであります。

砂場、運動機具（ブランコ、スベリ臺、ワクノボリの類）菜園、花壇などの手入、新しい計畫なども新學期のはじめの行事の一つであります。

以上形の上にあらわれているものゝ大體の立案が出来上つたとして、次に

保育實際業

保育の實際業こそ幼稚園の骨子であつて、これには最大の努力をつくさなくてはなりません。けれども、ともすれば形の上にはつきりとあらわれないものだけに等閑というまでなくともおくれ勝ちになりはしないでしょうか。

幼稚園は幼児と先生とがその中心存在であるという事は今更言葉を新たにするわけでもありません。何の設備もない焼け土の原でも、幼稚園は先生を中心として集つてくる幼児た

ちではじめられるものであります。この建物の不自由な時代、諸設備の困難な時期に、その不足を補うためにも一段と周到な保育案を用意して始めなくてはなりません。この指針が健全に立案せられてこそ毎日の保育の實際もよどみなく進められる事でありましょう。

保育案は、社會の年中行事、幼稚園の行事季節など保育案の骨子となる部分を基調として、これに年齢などをしんじやくして、保育事項を選んで、一ケ年間にこれを排列するのでありましょう。さらに一學期、二學期、三學期という様に細かに出来るだけ詳細に保育細案をたてるのであります。

幼稚園の設備、經營、保育案などと大小様々の數多の用意のうちにはやがて可愛らしい新入幼児を迎える入園式とまゐりませう。

幼児の中に、今まで兄、姉たちが幼稚園に来ていた人たちは別として、新たに入園する幼児たちは、うれしい氣持の中にも、いくらかは見しらぬ先生、お友達の中にはじめて入る不安な心持ちのあるのは當然のことでありましょう。これは幼児ばかりの氣持でなくて、保護者の方々にも多少、その感じはお持ちのことと思われまます。

そこで幼稚園では、新入幼児に對してはことにこの點、先生方の方で最も細い心づかひをもつて、誠心誠意親切にこの人たちに接して、一日も早く幼児ならびに保護者の方々との親しみが出来る様になる事が新學期の一番大切なことでありま

しよう。幼児ならびに保護者の方々と親しみが出来てこそ、周到につくられた保育案の實際の活用が充分に出来るということになりましょう。

人なれの早い幼児は別として、今まで家庭内の人たちとのみ遊んでいて、あまり外の友達と遊ぶ機會の少かつた人たちは一般になれにくいものであります。幼稚園の先生方は、幼児と親しくなるためにいろいろの方法を考えられる事でありましょうが、その幼児の名前を早く覚えるという事も一つの方法でありましょう。又幼児の家庭票などによつて先生が幼児の家族の様子などを、略承知して、兄弟の様子など話し合うことなども幼児との親しみを早くすることでありましょう。

とにかく幼稚園は家庭の延長という事を、實際の氣持にも出して、幼児にも、保護者にも、幼稚園、先生というものに安心してもらい、依頼してもらおうという事がすべての保育の仕事が圓滑に進められる事でありましょう。尙幼稚園と家庭の方々の親睦とをはかり、幼児を中心としての隔意なき保育の意見の交換なども、お互にその長短を補つたりのばしたりする事にもなるのでありましょう。

新しい入園幼児を迎え、又年長組に進んだ幼児の數多な春の幼稚園は希望に満ちて、自然の強い力と一緒に賑かに進みたいものであります。

保育者として近頃

おもひこと

東京都民生局保育班

増子とし

保育と家庭

最近米國から來朝した舊知のある宣教師夫人に私は彼地の保育現狀について尋ねたのですが、保育事業の上には戰時中にも、別段の變化が見られなかつたとの事でした。云い換えまずと戰争の影響が彼地の幼児には見られなかつたのです。多くの幼児は殆ど戰争を知らず戰争の圏外に生活して來たのです。たゞ少し變つたところと云えば、幼児の母親が數人づつ毎日保姆の指導の下に保姆と一緒に我が兒たちの保育に専念しているのが以前には見受けなかつたところであるとの事です。

幼稚園や保育所が家庭の幼児教育の補助と考えられて來た從來の見解に對して之は、家庭と保育所が何れが主、何れが従と云うのではなく、協同の責任に於て幼児の保育に専念しているのです。家庭とか保護者會は、保育所に保育を委任するのではなく、常に協同の仕事として之を取り上げてゐるわけです。云い換えれば何れも責任ある保育者としての立場に立つ事になるのです。彼地の事情が私共のそれに直ちに一致